

●人文学部 日本語日本文化学科（高一種免（国語）・中一種免（国語））

人文学部においては、人間の言語、心理、社会・文化、歴史などの事象や活動を対象とする最先端の研究成果を提供し、教育の過程を通じて、学生の自発性や独創性を促し、豊かな教養をもった品位ある人格を育成するべく教育の充実を図ってきました。

日本語日本文化学科は、世界の中の日本という視点から言語、文学、文化を深く理解することによって、国際社会の中での日本文化の意義を探究し、併せてそのための読解力、思考力、表現力の錬磨をとおして、現代社会における様々な分野に適応できる有能な人材を育成しています。

教員養成に対しても、日本語、日本文学、日本文化についての基礎知識を学ぶとともに、幅広い視野に立って教科指導の高度な専門知識を習得し、教員としての自覚と使命感、資質能力を身に付けた人材の育成を目標としています。その具現化のために、日本語日本文化学科では教職指導体制を構築し、学生が主体的に取り組める授業内容、指導方法を工夫しています。

「中一種免（国語）」「高一種免（国語）」の教科指導に関する教育課程には、基本的な国語科目を配置するとともに、日本語日本文化学科の科目と関連性が深くなるように多くの専門教育科目を設置しています。日本語日本文化学科の専門教育科目のうち、日本語学入門、日本語講義、日本語学演習、日本語の歴史、日本語研究史、日本文学入門、古典文学講読、近現代文学講読、古典文学講義、近現代文学講義、日本文学史、日本文学演習、漢文学、中国文学、書道などが教科に関する科目になっています。これらの科目を履修することで、教科指導に関する教養と専門性が涵養できるものと考えています。

● 人文学部 英語英米文化学科（高一種免（英語）・中一種免（英語））

人文学部においては、人間の言語、心理、社会・文化、歴史などの事象や活動を対象とする最先端の研究成果を提供し、教育の課程を通じて、学生の自発性や独創性を促し、豊かな共用をもった品位ある人格を育成するべく教育の充実を図ってきました。

英語英米文化学科では、1)本格的な英語運用能力・異文化間コミュニケーション能力を有する人材の育成、2)英語圏の文化について深い知識と理解をもった人材の育成、3)日本というしっかりした基軸に立ち、自分を表現、行動、問題解決のできる人材の育成を目標としています。

教員養成に対しても、生徒の模範として、高度な英語運用能力や英語圏の文化に対する深い知識を持ち、国際市民の一人として世界的な視野で発想・行動のできる英語教師を輩出することを目標としています。2年次には同学年の約半数が英語圏の大学で約4ヶ月の間、研修をします。現地でルームメイトと生活しながら、現地の学生と混じってアカデミッククラスや体育なども履修する本格的な留学です。これを経験することで、実践に裏打ちされたコミュニケーション能力や異文化理解能力をもった英語教員を養成します。

カリキュラムでは、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解の分野で、これからの英語教師に求められる最新の知識や技能を提供すべく、多くの専門科目を設置しています。特に、言語学入門、英米文化入門、応用言語学、英語で学ぶ言語習得論、英語の発音、**English for Academic Purposes**、**Integrated English**、**Communicative Grammar**、異文化コミュニケーション、早期英語教育論などは、英語教員養成を強く意識して設置してあります。この他、主な専門科目として、英語のしくみ、英語の歴史、グローバル英語、異文化適応入門、英米の文学、英米の歴史と社会、日・欧・米比較文化論、英語英米文化演習、英語で学ぶアメリカ事情、英語で学ぶイギリス事情、英語で学ぶオーストラリア事情、**English for Social Change** などが開講されており、これらを履修することで、英語教員としての基礎的な専門的知識を網羅的に養うことができると考えています。

● 人文学部 コミュニケーション学科（高一種免（公民）・中一種免（社会））

人文学部においては、人間の言語、心理、社会・文化、歴史などの事象や活動を対象とする最先端の研究成果を提供し、教育の課程を通じて、学生の自発性や独創性を促し、豊かな教養をもった品位ある人格を育成するべく教育の充実を図ってきました。

コミュニケーション学科は、多様化する表現メディアを適切に活用できる技術とメディア文化の専門的研究の知見を身につけ、地域における実践的活動を通して最適なコミュニケーション・デザインとコミュニティ・デザインを提案し、社会のより良い文化情報環境に寄与できる「文化情報デザイナー」（教員・学芸員・司書等の有資格者を含む）を育成しています。

教員養成に対しても、情報社会の実態についての基礎を学ぶとともに、情報が社会にとっていかに重要な意味を持つかを理解し、社会に溢れる情報に対する批判的な思考力や、確かな言語能力に裏付けされた自己表現力を培い、それらをもって生涯学びつづけ、「良き市民」として社会問題の是正に立ち向かう姿勢を持つ人間力を育成することを目指しています。このような教育を通して、総合的観点から物事を分析し判断する力、およびそれらに基づく指導力を実践的に培い、次世代の社会の中で人を支え、導くことができる人材を輩出することを目標としています。

特に、教員免許「高一種免（公民）」「中一種免（社会）」の教職課程は、基本的な社会科目を配置するとともに、コミュニケーション学科の科目と関連性が深くなるように設置されています。コミュニケーション学科の専門科目には社会学、社会とことば、メディアの法と倫理、ジャーナリズム論、政治とメディア、地域とメディアなど、社会の中でのコミュニケーション活動について学ぶことができる多くの科目が配置されており、これらの科目を履修することで現代社会の基本的な構図や課題などを理解するとともに、高校での「公民」や「社会」を教えるための教養と専門性が養えると考えています。

●人文学部 心理学科（高一種免（公民）・中一種免（社会））

人文学部においては、人間の言語、心理、社会・文化、歴史などの事象や活動を対象とする最先端の研究成果を提供し、教育の課程を通じて、学生の自発性や独創性を促し、豊かな教養をもった品位ある人格を育成するべく教育の充実を図ってきました。

心理学科では、基礎的な研究方法や技術を学び、認知、教育・発達、社会・文化、臨床などの各分野の専門知識を深く理解し、また統合し、心の問題に対処できる力量をもった健全で成熟した社会人を育成しています。

教員養成に対しても、心に関する幅広い専門知識はもちろん、心について客観的に理解するための研究手法、さらには心の問題解決のための具体的な手立てを習得することを重視しています。これにより、教育者の資質として要求される個々の子どもたちへの深い洞察力、ならびに様々な教育実践活動を適切に行っていくための指導力を兼ね備えた教員を輩出することを目標としています。

また、心理学科で取得可能な教職免許の「高一種免（公民）」「中一種免（社会）」は、社会科の基本となる科目を配置するとともに、感情・人格心理学、社会・集団・家族心理学、行動科学、文化心理学、健康・医療心理学といった、人間の心の基本的なメカニズムや、現代社会と人間の心の関係について学習する科目を幅広く配置しています。こうした科目を履修することにより、現代社会の諸相および課題について、人間の心のあり方や行動様式の特徴を踏まえた理解を深め、中学の「社会」や高校の「公民」を指導するための教養と専門性を獲得していくことを見込んでいます。

● 人文学部 歴史地理学科（高一種免（地理歴史）・中一種免（社会））

人文学部においては、人間の言語、心理、社会・文化、歴史などの事象や活動を対象とする最先端の研究成果を提供し、教育の課程を通じて、学生の自発性や独創性を促し、豊かな教養をもった品位ある人格を育成するべく教育の充実を図ってきました。

歴史地理学科では、あらゆる事象や問題を「歴史的な経緯」と「地理的な視野」を併せて統合的に考察・学習し、現代を生きてゆくために必要な深い洞察力と見識、歴史的・地理学的センスを身につけた人間の養成をしています。

教員養成に対しても、学生に対して歴史学と地理学それぞれの分野に関する専門教育科目の修得を義務づけることにより、たとえば高等学校教育における歴史学教育だけではなく、地理学教育を担いうる両分野に精通した高度な知識と専門性を有する教員の養成を目標としています。

さらに資史料の解読・分析といった歴史学的方法論と社会現象を空間的な視角から分析する地理学的方法論の習得、野外実習を通じたフィールドワーク調査法の習得、資史料をコンピューター上で分析・表現する手法の習得等を具体的目標とすることで、教授対象である生徒やその集団の特性、および生徒が在籍する学校を含む地域社会に即した独自の教材を開発する能力を養成することが可能であると考えています。